

# 細見コレクション 若冲と江戸絵画

会期 2025年3月1日(土)~5月11日(日)

江戸時代絵画を代表する絵師として知られる伊藤若冲（1716~1800）。精緻な描写、鮮やかな色彩や自由闊達な水墨表現は、対象を独自の視点で捉えた瑞々しい絵画世界を形成し、多くの人を魅了しています。

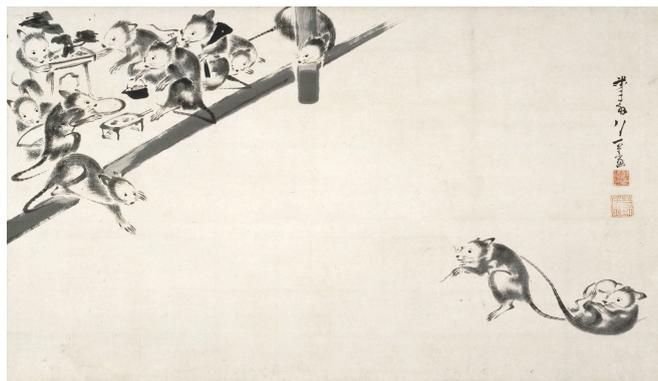
細見コレクションの若冲作品の特徴は、初期作と晩年作が見られるところにあります。彩色画の《雪中雄鶏図》や《糸瓜群虫図》は30代の作。早くも若冲の独創的な描写が見出され、のちの《動植綵絵》(皇居三の丸尚蔵館)につながる重要な作品と位置づけられています。

一方で、若冲の画業において質・量ともに見逃せない水墨画は、細見コレクションでも大きな割合を占めています。80代の筆とされる《群鶏図》や《鼠婚礼図》など、絶妙な墨技によって動物を表情豊かに描いています。

本展では、細見コレクションより若冲とその弟子とされる若演の作品のほか、江戸時代のさまざまな絵師による作品を展観、若冲と江戸時代絵画の豊かな表現をお楽しみください。



伊藤若冲 《雪中雄鶏図》 江戸中期 細見美術館蔵



伊藤若冲 《鼠婚礼図》 寛政8年（1796）頃 細見美術館蔵

## —主な出品作品—

※すべて細見美術館蔵



左から ・伊藤若冲 《糸瓜群虫図》 江戸中期 ・伊藤若冲 《群鶏図》 寛政8年(1796)頃  
・若演 《釣瓶に鶏図》 江戸後期 ・池大雅 《児島湾真景図》 江戸中期

## — 展覧会概要 —

\*会期・営業日時等を変更する場合があります。最新情報はWEBサイトをご覧ください。

展覧会名称	細見コレクション 若冲と江戸絵画
会 期	2025年3月1日(土)～5月11日(日)
開館時間	午前10時～午後5時
休館日	毎週月曜日(ただし、5月5日は開館)、5月7日(水)
入館料	一般 1,800円 学生 1,300円
主催	細見美術館 京都新聞(予定)
会場	細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 <a href="http://www.emuseum.or.jp">http://www.emuseum.or.jp</a>
本展連絡先	細見美術館 TEL: 075-752-5555(代) FAX: 075-752-5955(代) 広報担当 大塚 <a href="mailto:kouhou@emuseum.or.jp">kouhou@emuseum.or.jp</a>

《事前予約不要》混雑時は入場をお待ちいただく場合があります。



展覧会資料(画像)・取材をご希望の方は、[ホームページリリースページ](#)  
もしくは左記QRコード「[資料・ご取材申込フォーム](#)」からお申込みください。